

Ideaセミナー

統合報告書2017 優良事例研究

2017年11月2日

凸版印刷株式会社

M S C I ESGレーティングにおいて、 できるだけ高い評価を得るには？

おさらい

<M S C I ESGレーティングの特徴>

- ・ 公開情報のみで分析/判断
- ・ 37項目からなる評価基準
- ・ 業界ごとに異なるマテリアリティ など

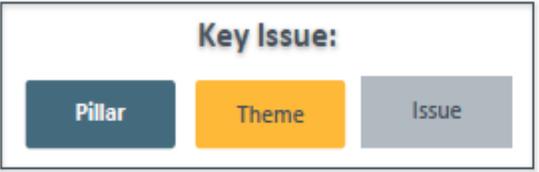
おさらい

ESG 格付け

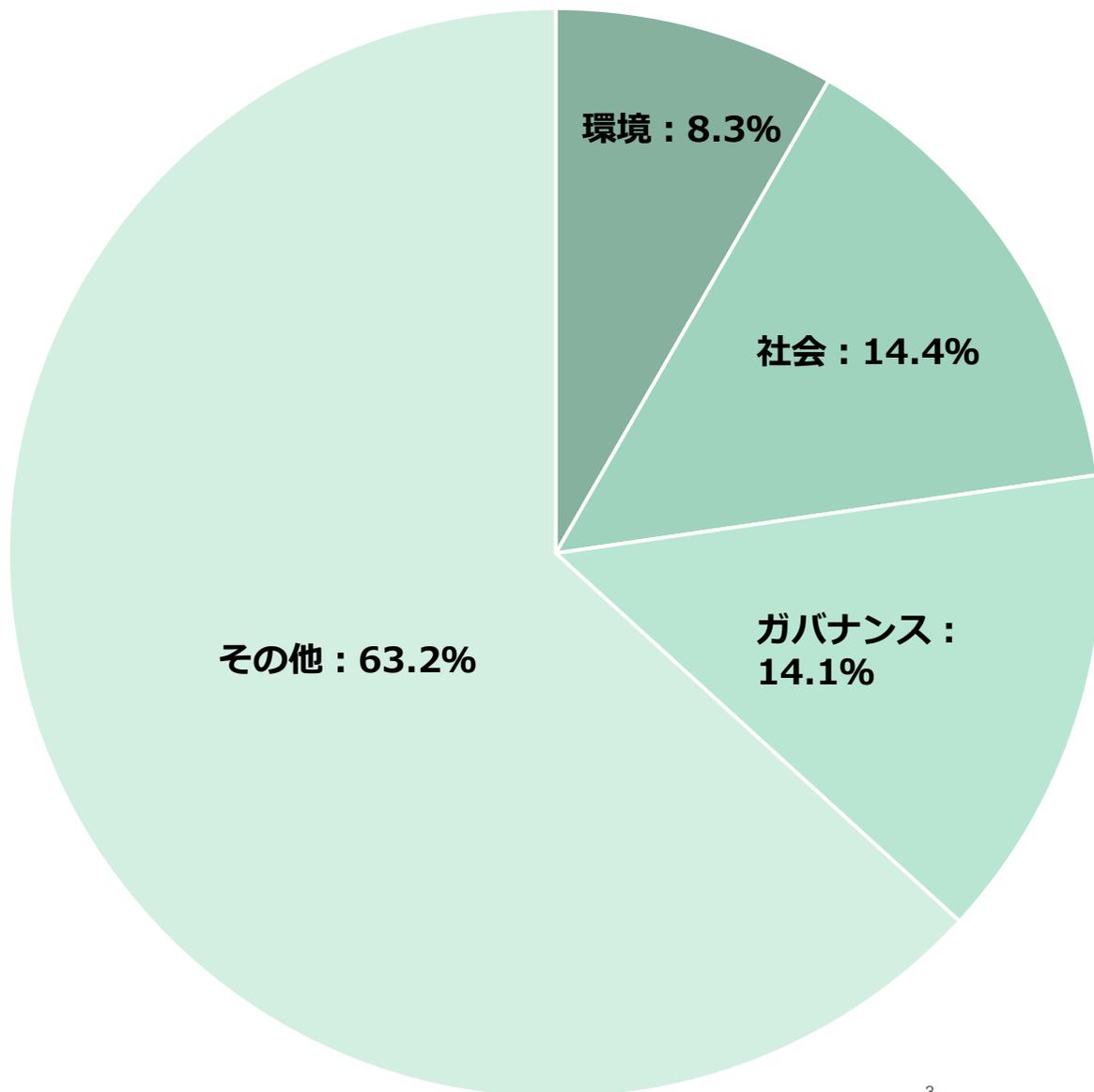
環境評価				社会評価				ガバナンス評価	
地球温暖化	自然資源	廃棄物管理	環境市場機会	人的資源	製品サービスの安全	ステイクホルダーマネジメント	社会市場機会	コーポレートガバナンス	企業行動
二酸化炭素排出	水資源枯渇	有害物質と廃棄物管理	クリーンテクノロジー	労働マネジメント	製品安全・品質	紛争メタル	コミュニケーションへのアクセス	取締役会構成	企業倫理
製品カーボンフットプリント	生物多様性と土地利用	包装材廃棄物	グリーンビルディング	労働安全衛生	製品化学物質安全		金融へのアクセス	報酬	公正な競争
環境配慮融資	責任ある原材料調達(環境)	家電廃棄物	再生可能エネルギー	人的資源開発	安全な金融商品		ヘルスケアへのアクセス	オーナーシップと支配	汚職と政治不安
温暖化保険リスク				サプライチェーンと労働管理	プライバシー&データセキュリティ		健康市場機会	会計リスク	財務システムの安定
					責任ある投資				租税回避
					人口動態保険リスク				

3つの柱
10のテーマ

37の課題



冊子全体のページ数から見たESG情報のボリューム (みずほFG除く)



ESG情報の平均ページ数

